

南伊豆町防災マップ

土砂災害ってどんなもの？

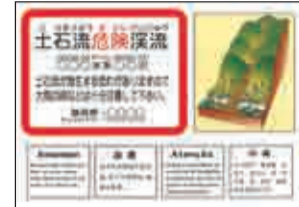
土石流

あっという間に、大きな石や土砂がおそってくる。

▼土石流って知っている？

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水といっしょになって、津波のようにおそってくるものを、土石流といいます。土石流の先頭の部分は、大きな石や岩、流木などが集まって小山のようにもっています。その早さは、時速200キロメートルから400キロメートルと、自動車なみのスピードです。なかにはソコの数倍もある大きな岩がまじったものもあり、すさまじいいきおいで、あっという間に家や田畑をつぶし、おし流してしまいます。土石流による災害は、急な谷川があるところや、谷の出口にある扇形の「扇状地」とよばれる土地がよく起こります。また土石流は、スピードが速いために、人命にかかわる大きな災害になることが多いです。

浸床勾配が1/30（2）以上で、土石流が発生した場合、人家などが被害を被る危険がある浸床を土石流危険浸床といえます。土石流による被害を防ぐために、砂防えん堤が作られています。



◎看板でお知らせしています。



▼こんなときは注意しよう

- 山崩りがする
- 急に川の流れている濁りが混ざっている
- 雨が降っているのに川の水位が下がる
- 買った土の臭いがする



こんな所が危険です！

- 谷川に大きな石がころころあるところ。
- 裏山に急な谷川があるところ。
- 過去に急な谷川が土石流が谷の出口のところに堆積してできた扇状地のところ。

がけ崩れ

とつぜん、岩や土砂がガラガラと落ちる。

▼がけ崩れてどんなもの？

がけ崩れは、斜面がとつぜん崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2倍くらいの距離までとどくことがあります。がけ崩れは、地震や、大雨や長雨で地面に水がしみこんで起きますが、地すべりとちがうところは、崩れがあまりなく、とつぜん起き、スピードが速いことなどです。家の近くで起きると、逃げおくれる人が多く、たいせつな命が失われたり、家がこわされたります。あふないと感じたら、できるだけ早くひなする心が大切です。

勾配30°以上、高さ5m以上の急傾斜に面する人家などが、がけ崩れの被害を被る危険があるところを急傾斜地崩壊危険箇所といえます。この箇所のうち、法律で指定されたものを急傾斜地崩壊危険区域といえます。がけ崩れによる被害を防ぐために、壁を建てて土砂を受け止める、よう壁工などのがけ崩れ対策工事が行われています。



◎看板でお知らせしています。



▼こんなときは注意しよう

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がはらばらと落ちてくる
- がけから木の根が切れる等の音が出る



こんな所が危険です！

- がけにひび割れが発生しているところ。
- がけの上部がせり出しているところ。
- 急ながけが高いところ。
- がけから水が湧き出たり、がけの表面の水が流れているところ。

地すべり

地面がひびわれ、家や道がズルズルと動き出す。

▼地すべりって何？

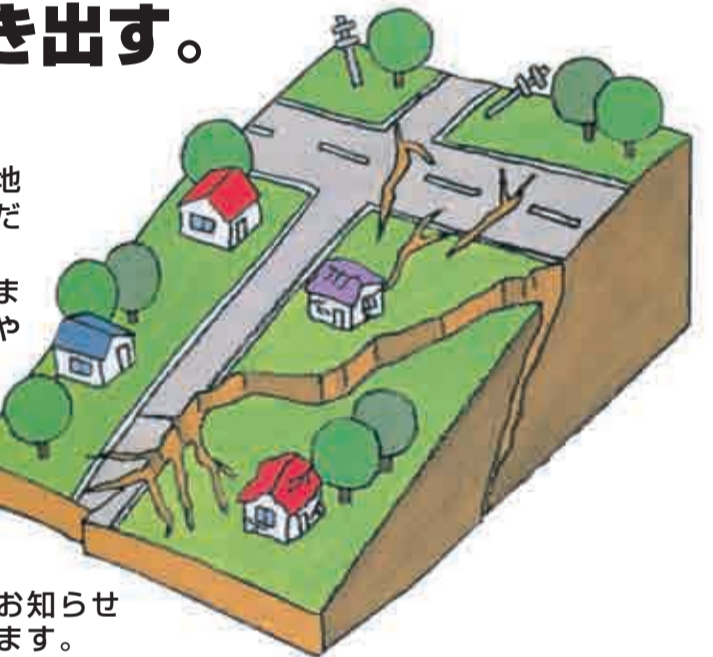
地面は、硬さや性質がちがう土や石が、いくつかの層になって積み重なってできています。地下水がねん土のような、すべりやすい層にしみこんで、そこら上の地面がそっくりすりすべりすべり、地すべりです。

地すべりの動きは、ふだんは1日に数ミリメートルとゆっくりですが、とつぜんスピードが上がる場合があります。広い範囲で地面がすべり、おし出された土砂や地面の移動によって、家や道路がこわされたりします。

空中写真の判読や被害記録の調査、現地調査によって、地すべりの発生する恐れがあると判断された箇所を地すべり危険箇所といえます。この箇所のうち、法律で指定されたものを地すべり防止区域といえます。地すべりによる被害を防ぐために、地下から水を抜いたり、地面が動かないように杭をつつなどの地すべり対策工事が行われています。



◎看板でお知らせしています。



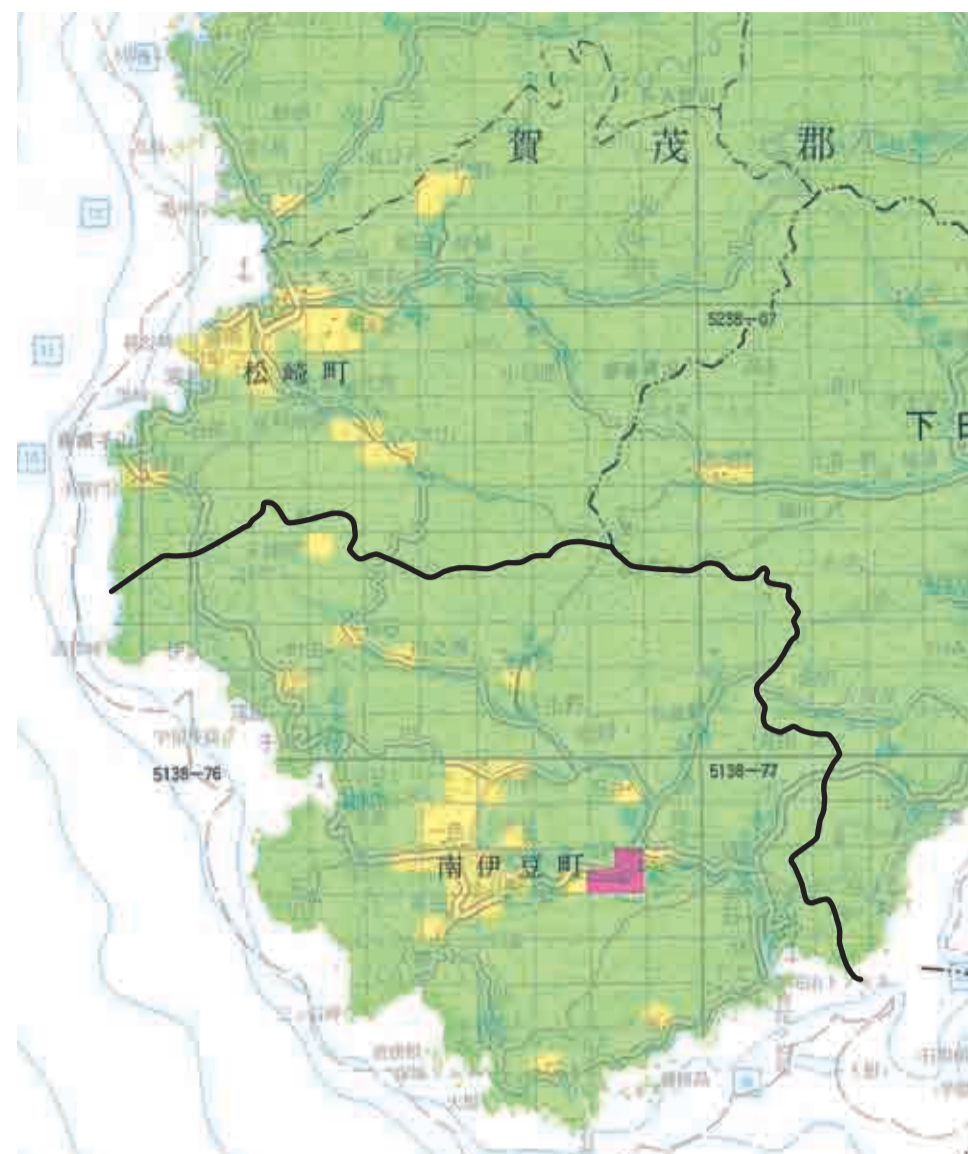
▼こんなときは注意しよう

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が湧き出す
- 家や建屋に電線が入る
- 家や建屋、樹木や電柱が傾く

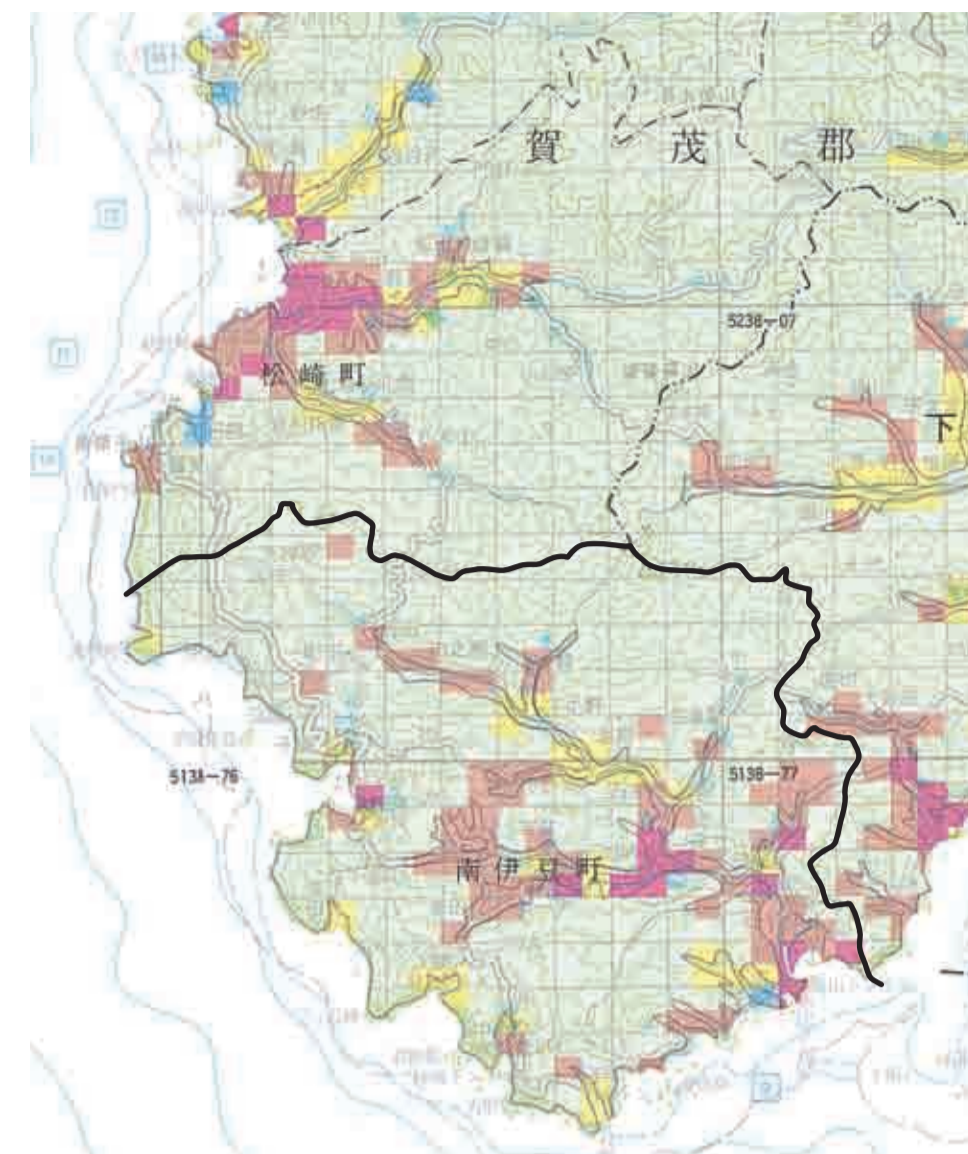


東海地震各種想定図

推定震度分布図

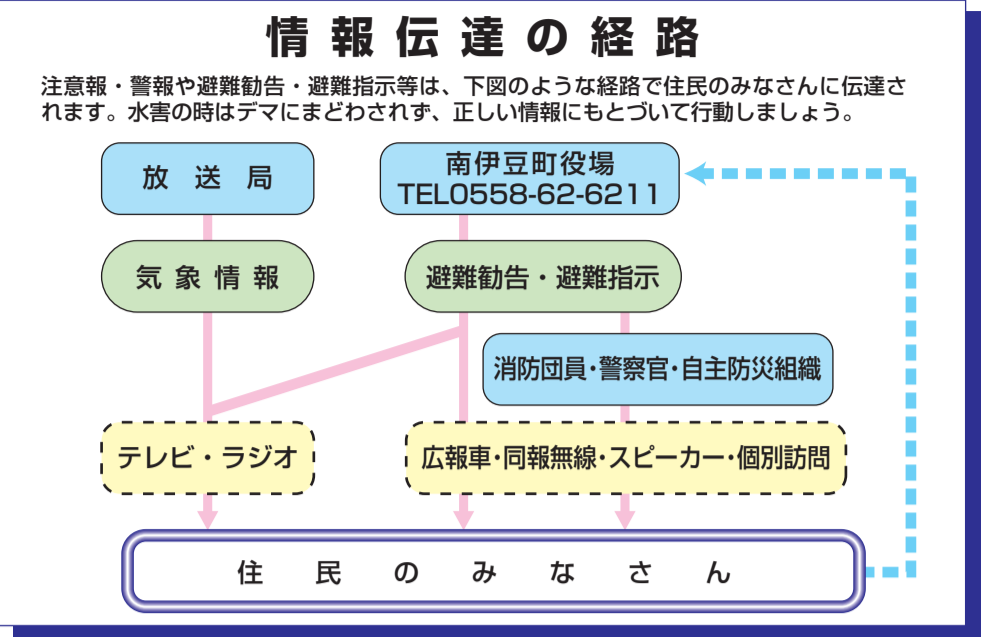


推定液状化危険度図



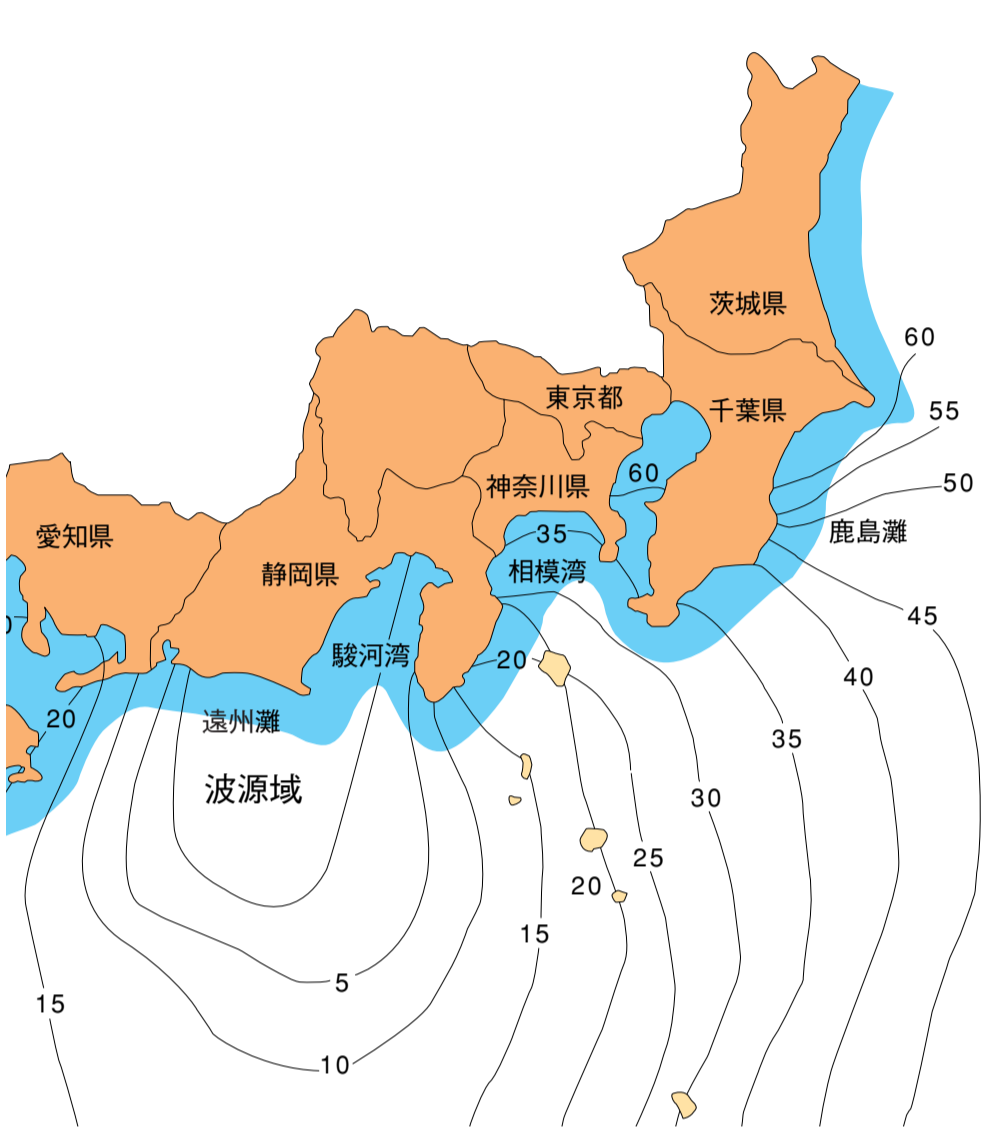
凡		例	
色別	震度階級	人間	屋内の状況
赤	7	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
黄	6強	立っていることができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛出ることがある。
緑	6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
青	5強	非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書籍の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなる可能性がある。一部の戸が外れる。

凡		例	
色別	危険度	発生の可能性	
赤	大	液状化発生の可能性が高い	
黄	中	液状化発生の可能性がある	
緑	小	液状化発生の可能性が低い	
青	なし	液状化発生の可能性がない	
黒	岩盤	対象外（対象となる砂層がない）	



想定東海地震津波の第1波予想到達時間(分)

(第1波：東海地震発生後の±5cmの水位変動)



防災関連施設一覧

●避難場所〈広域避難地〉

施設名	住所	電話番号	施設名	住所	電話番号
東中学校	賀茂郡南伊豆町湊 1721	0558-62-0458	石廊崎駐車場	賀茂郡南伊豆町石廊崎	
手石保育所	賀茂郡南伊豆町手石 319	0558-62-0931	中木入口広場	賀茂郡南伊豆町中木	
大京観光入口広場	賀茂郡南伊豆町手石		町営差田グラウンド	賀茂郡南伊豆町入間	
南崎保育所	賀茂郡南伊豆町下流 174-1	0558-65-0080	妻良区駐車場	賀茂郡南伊豆町妻良	
南中小学校	賀茂郡南伊豆町上賀茂 80	0558-62-0032	南上小学校	賀茂郡南伊豆町下小野 640	0558-62-0255
南崎小学校	賀茂郡南伊豆町大瀬 360	0558-65-0003	三浜小学校	賀茂郡南伊豆町子浦 1472	0558-67-0004
大瀬区広場	賀茂郡南伊豆町大瀬				

●救護所

施設名	住所	電話番号
東中学校	賀茂郡南伊豆町湊 1721	0558-62-0458
南中小学校	賀茂郡南伊豆町上賀茂 80	0558-62-0032
町営差田グラウンド	賀茂郡南伊豆町入間	

●救護病院

施設名	住所	電話番号
共立湊病院	賀茂郡南伊豆町湊 674	0558-62-1312

いざという時の心構え

●雨に注意していますか？ ●避難場所は決まっていますか？ ●逃げ方を知っていますか？



雨の強さと降り方	1時間雨量(ミリ)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて	災害発生状況
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返り足元がぬれる	地面からの跳ね返り足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20~30	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようにになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーン現象)	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	湖のように降る(コーゴート降り続く)	傘は全く役に立たなくなる	水は流すをあたりに一面が白く濁り、視界が悪くなる	水は流すをあたりに一面が白く濁り、視界が悪くなる	車の運転は危険	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険な地域では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50~80	非常に激しい雨							都市部では地下室や地下街に雨水がたまり、水が噴き出す。土石流が起これば、多くの災害が発生する。
80~	猛烈な雨							雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要

事前に、避難場所、連絡先の確認をしておきましょう。気象情報や、南伊豆町役場からのお知らせに注意しましょう。危険なと感じたら、早めの避難をしましょう。土砂災害が起きそうなときや、発生したときには、土砂災害110番まで連絡を！皆さんがモニターです。

情報の相互通報

地域住民のみなさん ↔ 南伊豆町役場 下田土木事務所

土砂災害110番 (土砂災害が起きそうなときや、発生したときには連絡を！)

お問い合わせは 南伊豆町役場建設課 ☎0558-62-6277
静岡県下田土木事務所企画検査課 ☎0558-24-2112
静岡県土木部河川砂防総室砂防室 ☎054-221-3041

我が家の防災メモ (記入してください)

避難場所：
緊急時の連絡先：

避難する時は安全な服装で

- 服は長袖、長ズボンを着用する(材質は燃えにくい木綿製のものを)。
- ヘルメットや防災ずきんをかぶる(頭を落下物などから保護する)。
- 非常持出品はリュックサックに入れて背負う(両手が使えないようにする)。
- 手袋(手袋)を着用する(ガラスの破片などによる手のケガを防ぐ)。
- 靴は底の厚い丈夫なものをはく(ガラス片などによる足のケガを防ぐ)。

我が家の防災対策 非常持ち出し品等



避難時の心得

- 避難勧告が出ていなくても、大雨警報が発令されたら、周辺地域で避難勧告が出たときには、自主的に避難準備をしましょう。
- 避難勧告が出たときには、すみやかに避難しましょう。夜間、雨の中を歩く速度は1時間1.5km~2kmが目安となりますが、お年寄りや子供と一緒に歩くときはさらに時間がかかります。
- 役場や消防署からの避難の呼びかけは、雨戸や風雨の音で聞こえにくい場合があるので、注意しましょう。
- 避難の際には次のことに注意しましょう。
 - ・避難は2人以上で
 - ・側溝や水路に注意
 - ・川沿いや山沿いの道路はできるだけ避ける
 - ・避難は自動車を使わず徒歩で
- 指定された避難場所への避難が困難になってしまったときには、近くの丈夫な高い建物に緊急避難しましょう。

地震など防災全般にかかるお問い合わせは

南伊豆町役場総務課 ☎0558-62-6211
賀茂地域防災局 ☎0558-24-2004

知っておきたい防災知識 家族の安否確認に災害用伝言ダイヤル「171」を！

使用方法：「171」をダイヤルし、後はガイダンスに従いメッセージを録音・再生するだけ。

171 ガイドンス 録音の場合「1」 ガイドンス 自宅の電話番号をダイヤル ガイドンス 録音
ダイヤル 再生の場合「2」 再生の場合 0558-△△-□□□□ ガイドンス 再生